名補佐役、大いに語る！

編集局インタビュー①

―取引の基本は WinWin の関係から－

土田　智巳　（つちだ　ともみ）

株式会社アイ・オー・データ機器　執行役員　生産購買部長

企業理念

当社は、技術革新の激しい IT 業界において常に業界をリードするリーディングカンパニーとしての自覚を持ち、「時代の一歩先行く技術力」、「市場を半歩先取りする商品力」、「充実したサポート力」という創業以来から変わることなく培ってきた精神で情報社会に貢献していくことを企業理念として掲げております。（HP より）

土田さんのプロフィール

出身地：金沢市出身、年齢：42 歳　家族：奥様、お嬢様（小 1）

金沢市西方を流れる犀川の辺、桜田町にひと際目立つ２つの「アイ･オー･データ」ビル、その本社ビルに土田智巳様を訪ね、約 1 時間のインタビューをさせて頂きました。（以下は要約です）

編集局　お仕事の内容は？

土　田　生産購買部の主な業務として製品の調達や外注管理がありますが、その他に販売・生産計画も我々の業務になります。

編集局　5 年間の台湾勤務について教えてください。

土　田　台湾に事務所が出来て間もない頃（当時、スタッフは 8 名でした）に責任者として赴任しました。5 年間で台湾の基盤を整備し、帰ってきました。現在は、30 名弱のスタッフが現地で頑張っています。

中国語は、日常に不便のない程度話せるようになりました。台湾人のスタッフに日本式の仕事をしてもらうことに少々苦労しましたが、今は問題なく働いてもらっています。

家族も一緒に行っていた中でこんなことがありました。サーズ（重症急性呼吸器症候群）が流行ったことがあって、暫く妻と娘が日本に帰国して、数ヶ月後に娘と会った時、当時 2 歳だった娘が「おじさん誰？」という表情をしましてね、ショックでしたね。（笑）

台湾料理では、牛肉麺（にゅうろうめん）が美味しかったですね～。

編集局　ご趣味は？

土　田　特に趣味と言えるものはないですが、休日は家族と過ごすことが多いですね。

娘の成長を見ているのが楽しいです。

編集局　健康管理で気をつけていることはありますか？

土　田　学生時代はハンドボールをやっていましたか、最近はゴルフくらいですね。食事では、好き嫌いもないし、健康診断でも異常なしでした。

気をつけていることといえば、水分を多くとるようにしていることかな。

編集局　部下の指導方法は？

土　田　入社して 19 年になりますが、私たちが上司から受けた指導方法は、今は通用しないです。

社会的な環境も変わりました。ノートPC が増えて、周辺機器の需要が限られるようになって、顧客のニーズも変わってきました。

会社の方向性を打ち出すことも大変ですが、社員同士のコミュニケーションも大切だと考えています。

わが社では頻繁に飲み会があります。そういう中で、部下の悩みごとを聞きだし、アドバイスをするこ

ともあります。また、仕事の動向を見極め、進み具合を抜き打ちでチェックし、間違っている場合は軌道修正させます。部下にとっては煙たいかもしれませんね。

編集局　今後、お仕事で力をいれたいことは何ですか？
土　田　台湾での仕事の経験を生かして、海外との取引を充実させていきたいです。

編集局　海外との取引に対するポリシーは？
土　田　海外でも国内でもそうだと思うのですが、取引は基本的に「WinWin」でなければいけないと思います。
相手に対して胸を張ってリクエストできるような企業でありたいと思います。それが私のポリシーでもあります。

編集局　調達に関しては、どのように広げていきたいですか？
土　田　台湾は自分たちで企画をつくれる社会なので、こちらの注文で変更がしやすい環境があります。他のアジアの国では、わが社の設計を「活かせるか？」ということがこれからの課題です。
情報のアンテナを張り巡らし、精査して、アイ・オー・データの未来を見つめていきたいと思います。

編集局　台湾でお友達はできましたか？
土　田　台湾人はフレンドリーで、仕事でたくさんの方と知り合いました。私は仕事面だけですが、家内は子供や趣味を通じて沢山の友人が出来たようで、今でも盛んに交流しています。そういうところは、女性にかなわないですね。

編集局　ISA のコラボについてどう思いますか？
土　田　うちの会社では社内結婚が多いのですが、社外の方との知り合うきっかけが余りないのかもしれません。そういう意味で言えば、社外の方達との交流の場を増やして頂くのも良いことではないかと思います。
ビジネスになるかは別として、横の繋がりが薄い時代なので、それなりに意義のあることだと思いますね。

編集局　最後に一言
土　田　アイ・オー・データは今年で 34 期です。企業として信頼を裏切らないことを大切にし、時代の荒波を乗り越えたいと思います。アイ・オー・データは、近い将来、更に飛躍します。是非、ご期待ください。

―編集局ブログー
第一声を聞いて、お笑いの博多華丸・大吉の大吉さんとダブって仕方がない(笑)
話方というか、声の質というか、風貌も含めて、どう見ても「ソックリさん」の部類にはいります。
インタビューの最初に「うちの番頭さんです」と紹介されました。
若くて「番頭さん」というからには、経営幹部からは評価の高い方だと推察されます。
専門的な質問には、企業人としての明快な回答があり、上にもはっきりものが言えるタイプのようです。
信念があり、仕事には全身全霊で取り組む姿勢がうかがえます。